

「日々の理科」(第 3512 号) 2024, -3, 19  
「青春 18 切符・日帰り大旅行 (2)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

東京駅 4 : 4 1 発・京浜東北線の下り一番電車に乗り、品川駅で東海道線下り二番電車・小田原行に乗り換えました。



実は、東京駅 4 : 5 5 発の横須賀線下り一番電車に乗っても、戸塚駅でこの小田原行に接続していることがあとでわかりました。戸塚駅は上下線とも、東海道線と横須賀線の線路が一つのホームで向かい合っている唯一の駅なので、乗り換えが楽なのです。



東京駅と同じように、5 : 1 0 発に間に合うように品川駅に来られる人はなかなかいません。この小田原行の東海道線電車も、乗車する人はまばらでした。当然品川駅を出発する時はまだ夜明け前です。東海道線は西に向かって進みます。太陽に背を向ける形なので、なかなか夜が明けません。旅行は始まったばかりなのに、「夜汽車」に乗っているような気分でした。

大船駅を過ぎたあたりから少しずつ明るくなり始め、茅ヶ崎～平塚間の「相模川」を通過する頃には、車窓景観もはっきりわかるようになってきました。鉄道旅行は、やはり景色がよく見える「晴れた日の日中」に移動するのが鉄則だと思います。



私はかつて、この相模川の河口で、友人のお父様が所有する小さな漁船で、釣り遊びをした思い出があります。ちょうど写真にうつっているような船です。私も船舶免許を持っているので、海まで操船させてもらいました。ハゼがたくさん釣れた記憶があります。

一般的には、海岸沿いには、源流から河口までの距離も流域面積（集水領域）も狭い「二級河川」が多く見られます。どんなに細い沢や小川でも、一級河川の支流は一級河川なので、海から遠い場所の川はほとんど一級河川です。従って、内陸県の栃木・群馬・埼玉・山梨・長野・岐阜・滋賀・奈良の 8 県には二級河川は一本も存在しません。



「一級河川 山中湖」の看板／山梨県山中湖村

相模川も、山梨県の山中湖や近傍の忍野八海（おしのはっかい）を源流とする一級河川です。ちなみに「山中湖」自体も一級河川の一部です。流域が県をまたぐ川の場合、名称が変わる川もあります。千曲川（長野県）→信濃川（新潟県）がその例です。相模川も山梨県側では「桂川（かつらがわ）」と呼ばれています。